

2019.7.30<計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

Ritsumeikan Game Week 特別展 一般公開のお知らせ

日 時 : 2019年8月10日(土) 11:30~18:00

場 所 : 立命館大学衣笠キャンパス 創思館

～プレス向け事前公開～

2019年8月6日(火)、7日(水)、9日(金) 11:30~16:00

立命館大学ゲーム研究センターは、8月10日(土)に「Ritsumeikan Game Week 特別展」の一般公開を行います。本特別展は8月5日(月)～11日(日)に本学で開催される3つのゲーム関連国際学会(「2019 IEEE SeGAH」・「DiGRA 2019」・「Replaying Japan 2019」)の参加者に向けた研究展示で、1日限定で一般公開するものです。

いまや世界中で多くの研究者たちがゲームを対象に研究をしています。特に日本のゲームはその歴史や文化的な価値に注目が集まっています。

本特別展では、3つの企画展が開催されます。「テレビゲームとその時代展①昭和編」では、主に1970年代から1986年までのアニメ・おもちゃ・ゲームの関係を考察したパネル展示などを行うほか、1980年代のゲーム機を触って遊ぶこともできます。「テレビゲームとその時代展②令和編」では、「テレビゲームがもたらす新たな団欒」をテーマに映像学部の学生や教員が制作したゲーム作品展示を行います。また、「『ギャラクシアン』→『ギャラガ』→『ギャプラス』展」では、ゲーム開発関連資料の可能性をテーマとし、当時のアーケードゲームの開発資料を展示いたします。この機会に展示作品に触れ、日本のゲームの歴史や文化への理解を深めていただければ幸いです。

記

日 時 : 2019年8月10日(土) 11:30~18:00

場 所 : 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 2階

対 象 : どなたでもご覧いただけます。

観 覧 料 : 無料

Web サイト : 立命館大学ゲーム研究センター(センター長 上村雅之) <https://www.rcgs.jp/>

【プレス向け事前公開】

日 時 : 2019年8月6日(火)、7日(水)、9日(金) 11:30~16:00

場 所 : 上記と同様

※ご来場前に下記までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学研究部衣笠リサーチオフィス ゲーム研究センター事務局

担当: 岡本・中村

TEL.075-465-8476 FAX.075-465-8245

E-mail. rcgs@st.ritsumei.ac.jp

別紙

■ 個別展示情報

テレビゲームとその時代展①昭和編

日本人にとってテレビは家族の団欒の中心にあり、テレビを使った新しいおもちゃを子どもたちは「テレビゲーム」と呼んでいた。本展示では、テレビゲームが日本に現れ普及した 1986 年までの時代を、テレビに映し出されたアニメ、そしておもちゃの関係を通じて考える展示となる。

1986 年当時のゲームプレイ風景の再現展示と、主に 1970 年代から 1986 年までのアニメ・おもちゃ・ゲームの関係を考察したパネル展示や、1983 年前後に日本で発売されたテレビゲーム機のプレイアブル展示を行う。



テレビゲームとその時代展②令和編

令和時代における「テレビゲームがもたらす新たな団欒」をテーマにしたゲーム作品展示。1 人用の家庭用ゲームを最大 100 人でプレイ可能にするプレイミドルウェア「回遊-kaiyu-」(京都デジタルアミューズメントアワード大賞受賞)や、難易度をコントロールして AI を楽しませる「難易度シンセサイザーII」など、立命館大学映像学部の学生と教員が制作した多数の新世代のテレビゲーム作品をプレイアブル展示する。



『ギャラクシアン』→『ギャラガ』→『ギャプラス』展

「ゲーム開発関連資料の可能性」をテーマに、その価値の高さを提示するとともに、開発関連資料の活用可能性について考えていく企画。

取り上げるゲームタイトルは、1979 年に発売された『ギャラクシアン』、その後継機として 1981 年に発売された『ギャラガ』、さらに続編として 1984 年に登場した『ギャプラス』となる。上記 3 タイトルの開発関連資料を展示し、当時の開発者たちが考えたゲーム内容や変更内容、また実際にロケテストを行った結果などを紹介する。

